

美術館へ郷土ゆかりの美術家の作品展

常設展示のご案内



△ 郷土ゆかりの美術家の作品の数々

現在、美術館は郷土ゆかりの美術家の作品による常設展示を行っています。

展示作家は、長谷川青澄（日本画）をはじめとして、相原求二朗（油彩）、岡田千春（油彩）、河野文夫（油彩）、駒村久弥（油彩）、斎藤一郎（和紙作品）、佐藤武造（水彩）、寺瀬黙山（彫刻）、箕口博（彫刻）、宮沢鉄夫（日本画）、村山弘（油彩）です。是非、ご覧下さい。

仲間作りと新しいチャレンジ

後期趣味講座スタート



△ きれいな作品ができました！～「スイーツ・デコ」

総合学習センターでは、11月2日の「あつたか毛糸小物」の後期趣味講座を皮切りに、計9講座が始まりました。

新たな趣味や知識を身につけることで、豊かなくらしを自らつくりだしていく、学ぼうとする人たちが集まり、仲間となっていくことで、新たな交流が生まれます。

講座に参加してみることが、その第一歩になっていただければと思います。

「白山神社」にて思うこと

岡山地区 桑名川公民館長 小田切 一夫

マイ★オピニオン
意見・私見重要文
化財の「白山（はくさん）神社」が当地にありま

す。村民は親しみを込めて「白山さま」と言っています。この神社はたいへん急な山の中腹に位置し、したがってこの神社に参拝するには、一直線に登る参道を行くか、曲がりくねりながら上がつていく市道を行くかになります。

この、「白山神社」を必見する価値は言うまでもありませんが、特筆することは、一直線に登る急な参道の石段です。その石段数は九十九段といわれています。下から見上げると、そのすごさに圧倒されると同時に「よくぞ造り上げたものだ」と感心します。

また、曲がりくねりながら上がつていく市道にしても、長さ2kmの車が通れる幅の道をコンクリート舗装にしてあり、何年もかけて村の人たちの手作りで造り上げられたものです。



▷ 白山神社 本殿

子育てセミナー運営委員
募集します！

子育てセミナーは、子育て中のお母さん方が中心になって、企画・運営をしています。

興味のある方は、総合学習センター（飯山市公民館）までお問い合わせください。

子育て中のお母さん
一緒にやりませんか～○お問い合わせは
総合学習センター（飯山市公民館）Tel 62-3342まで

飯山市成人式協力員大募集！！

飯山市公民館では、平成22年度飯山市成人式（8月15日開催予定）に先立ち、成人式該当者（H元.4.2～H2.4.1生）の皆様の中より協力員を募集いたします。

自分たちの成人式を自分たちでプロデュースしてみませんか？

詳しくは飯山市公民館（Tel 62-3342）までお問い合わせください。



総合学習センター講座内容募集

総合学習センターでは、次年度の講座を考えるにあたり、皆様のご意見を募集いたします。やってみたい講座、教えてもらいたい講師、こんなことを教えてみたい方など、ご意見をお寄せください。

連絡先：総合学習センター飯山市公民館
（Tel 62-3342 FAX 62-5940）

降雪時駐車場使用についてのお願い

総合学習センター（飯山市公民館・市立飯山図書館・飯山市美術館・いいやま女性センター未来・飯山市ふるさと館）の駐車場使用につきましては、**夜間（夜10時以降）及び早朝の駐車は除雪作業の妨げになりますので、ご遠慮ください。**

また、特別な理由により駐車される場合は、飯山市公民館（Tel 62-3342）まで申し出てください。

を見て、その厳しさが伺えます。

こうした厳しい経済環境、雇用環境ではありますが、就労支援の必要性という点では、障がい者に限ったことではなく、健全者にも同じことが言えます。例

人 権
学習シリーズ「障がい者の雇用促進と就労支援」
～北信発、障がい者雇用促進フォーラムから～

飯山市民生部保健福祉課長 堀内隆夫

障がい者の就労についても、関わりを持つ機関に若干の違いはありますが、同様の支援が必要です。働く意欲がありながら、働く機会が得られないということは、人間としてたいへん辛いことであり、これは全てのの人に共通したことだと思います。

フォーラムで紹介された知的な障がいのあるTさんは、就労支援という形で様々な機関の人の支援と何より事業者のご理解のもと、持ち前の前向きな姿勢により、現在は職場の大切なスタッフの一員として認められ、信頼されて、生き生きとした毎日を送っているそうです。

例えば、在学中の職場体験や資格取得、卒業する際は学校とハローワークの連携、事業所説明会の開催など、また、就職した以降も職場内での技術指導・技能訓練や資格取得支援などなど時期に応じた様々な支援が行われています。